

わいわい 通信



お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- くらしカフェ
- 余暇利用
- 環境保全

今夏は、梅雨明け後もスッキリしない
天気が続き、また台風や噴火など大きな
災害が続発しました。

中国の史記「春秋」の関連書に
「居安思危 思則有備 有備無患」という
著名な文章があります。平安無事のとき
も危難に備え用心を怠らないこと、と説
いています。定例的なミーティングの際
に、被災や事故の予防と対処について話
し合うなど日頃から備えたいと思います。

あんしん なっとく じゅうじつ の生活



NPOの活動報告

- 4月20日 わいわい運営推進会議
- 5月 5日 新ホーム 打ち合わせ会議 (ほっと館 2階会議室)
- 5月11日 あったか・お休みの・おいでやコンサート10周年バザー
- 5月24日 第1回理事会 (ほっと館 2階会議室)
- 6月 7日 2004みんなおいでやコンサート (雨山研修館)
- 6月 8日 総会 (福祉センター館里研修交流室)
- 7月 5日 Iさん送別会 (福井県芦原)
- 7月 5日 第2回理事会 (ほっと館 2階会議室)
- 8月10日 新ホーム 打ち合わせ会議
- 8月21日 GHわいわい懇親
- 9月20日 阿星山麓サット (厚生労働省出向者視察・交流会)
- 9月27日 新ホーム 打ち合わせ会議
- 9月29日 GHわいわい懇親会
- 10月 5日 第3回理事会 (新ホーム関係)

月1回 ホームサポート会議、あったか企画会議、わいわい運営会議

募集中 わいわい日中ボランティア。
時間：おまかせ。
月1回でもかまいません。
お話相手、散歩・買い物
などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局 TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ

「木人」

外周の法面にうっそうと茂った雑木で、下の県道からは一麦寮の建物は見えない。

週に何回かの散歩コースを歩きながら、時々43年前の実習を思い出す。

1971年の5月、縁があって田村一二先生付の実習に入った。初日から子どもたちと一緒に粘土細工や歩行などをやらせてもらえると思っていたら、とんでもない間違いであった。毎朝田村先生のお宅へ伺って、一日の作業の指示を受けた。法面の緑に珊瑚樹や桜の幼木を植えたり、たまには下の道から雑草を切り取って来て法面に貼り付けたりと、先輩と二人でただひたすら環境整備の作業に明け暮れた。

田村先生自身も忙しい時間をぬって時々法面を登ってこられた。あやしいお茶？の入ったヤカンをぶらさげて来ては、子どもたちとたわいもないやりとりをしながら、私たちにもいろいろな話をされた。

「なあ みぞやん、こいつら（幼木）が大きくなるには30年も40年も掛かる。風雪干ばつに耐え、地中に根を張り、水分や養分を吸収しやっとな成木となる。もちろんその間に葉っぱからは二酸化炭素を吸収し、空気中に酸素を放出する。人間にとっても欠かせない、そんな重要な働きをしているのにちっとも偉そうではない。なのに人間は勝手に森を切り開き、文化的な生活と称して家を建てていく。昔から老人と木を大事にしない国は亡びると言われている。」

地球温暖化の問題がそう表に出なかった40年も前に、「自然との共生」を説かれていた田村先生の感性には驚きである。また同時に、人知れずこつこつと世のために働いて来た老人たちへの評価（尊厳）を、この様な形で教えてくれていたことにも今になって感心している。

田村先生の晩年の文号は「木人」であった。

2014. 10. 14 (み)



インフォメーション

＜新ホーム整備＞お知らせしてきた新ホームですが、いよいよ着工に向けて準備が整ってきました。予定地の変更(柑子袋→石部南)、構成の変更(完全個室の1棟→完全個室1棟と一部共同生活タイプ1棟の計2棟)などがありましたが、当初の目標どおり来年3月の完成が見込めそうです。Myほーむ、さんさんハウスなどから転居する人や新たにホームでの生活を希望する人を受け入れ、より良い住環境のもとに適切な支援を提供するホームとなるよう進めたいと思います。

地域で働き、暮らす

滋賀県社会就労事業振興センター
常務理事兼センター長 城 貴志

「働く」ことは、単に所得を得るだけではなく、地域や人の役に立ち、あてにされ、生き甲斐に繋がるなど、人生の幅や質を高め、自分らしく生きる礎です。

私たち振興センターは、障害者作業所や働き・暮らし応援センターはじめ関係機関や、地域の企業、行政の方々と、「地域づくり」の視点を大切にし、障害のある人の就労支援や作業所の「地域に必要とされ、地域が元気になる事業」を通して雇用や就労収入の向上を図り、誰もが安心して暮らし、働くことができる社会の実現に向け、活動しております。

ワイワイあほしクラブの皆様には、介護現場での障がいのある人の就労や、地域づくりの視点を大切にした事業展開のなかで、当センターの事業にご協力いただいております。

今後とも「しあわせの見える地域づくり」を目指して一緒に活動させていただければと思います。よろしく願いをいたします。

“井の元川に蛍を” 清掃活動の8年を振り返って

私が井の元川の清掃ボランティアに携わるようになって早くも8年になります。「人間は劣悪な環境下では生きてゆけない」の合い言葉の元、丸山橋から尾崎橋までの清掃活動をやってきました。

最初は川の中と土手のゴミ拾いをやっていましたが、オートバイや自転車なども引き上げるなど“なんじゃこのかわ”と言えるほどの酷さで軽トラ2台分のゴミを集めていましたが、今では半分以下となり、それなりに効果が出てきたのではと感じています。

現在の活動は、あるおばあちゃんの「草ぼうぼうで蛍が見えへんわ」の一言で始まり、なんてんさん、南区自治会の皆さんなど総勢50名余りの活動となった「どての草刈り」との二本立てで活動しています。

私たちの活動を支えていただいている多くの皆さんに感謝しつつ、これからも身の丈にあった活動を続けてゆきたいと思っています。

(h. i)



グループホームわいわい ~ほっこり・にっこり~

わいわいで働き始めて1年半が経ちました。

初めて訪れたとき、素敵な木のおうちだなと思ったのを覚えています。

介護の仕事は初めてでどうしたらいいのか悩むこともありますが、共に働くスタッフに相談しながら働かせてもらっています。

普通の生活という理念の下、お年寄りのみなさんと一緒に料理や洗たく物をたたんだり、できないことをお手伝いさせてもらいますが、みなさんちょっとした事に「ありがとう」とおっしゃ

って下さいます。

にっこりと笑われると私も嬉しくなります。

今年の春先に看取りの瞬間に立ち合わせていただき、言葉にできない悲しさを感じました。

日々、お年寄りのみなさんのいいところに目を向けてその人らしさを大切にしながら寄り添ってゆければと思います。

(望月 麻里子)



[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿(しゆく)

〒520-3107 湖南市石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.bw.dream.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南市石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南市石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南市石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム さんさんハウス

〒520-3108 湖南市石部南八丁目1番20-210号

TEL/FAX 0748-77-0630

E-mail: wac-sansan@dream.jp



●知的障がい者グループホーム 南花(さざんか)

〒520-3108 湖南市石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●知的障がい者グループホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南市石部南七丁目1番9号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●くらしカフェ(ほっと館)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2906/FAX 2907

E-mail: wac-info@dream.jp



●サポートセンター・本部事務局(ほっと館)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: SP wac-sprtc@dream.jp 本部 honbu-saport@dream.jp



＜栗東ハイツ＞2008年6月に栗東市林で開設した栗東ハイツが7月末に約5年の歴史の幕を閉じました。主に近江学園の卒園生の就労を支えるホームとして、地元の栗東市シルバー人材センターの皆様の温かな支援のもとに運営してきましたが、入居者の減少、就労先の変更などにより、一定の役割を終えました。長らくのご支援ありがとうございました。

〈編集後記〉芸術の秋ということで、趣味の音楽活動の中で、最近新しいことにチャレンジしました。何事でも新しいことを始めるといのは勇気がいりますが、演奏だけでなく人の縁が繋がりが拡がることに感激しました。
思い切って良かった！ (みつい)

〈お願い〉
会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。